

# 改定京都府環境基本計画の 進捗評価方法について

令和8年3月23日（月）午後1時30分～3時  
令和7年度第4回京都府環境審議会  
総合政策部会

# ■ 今年度の審議スケジュール

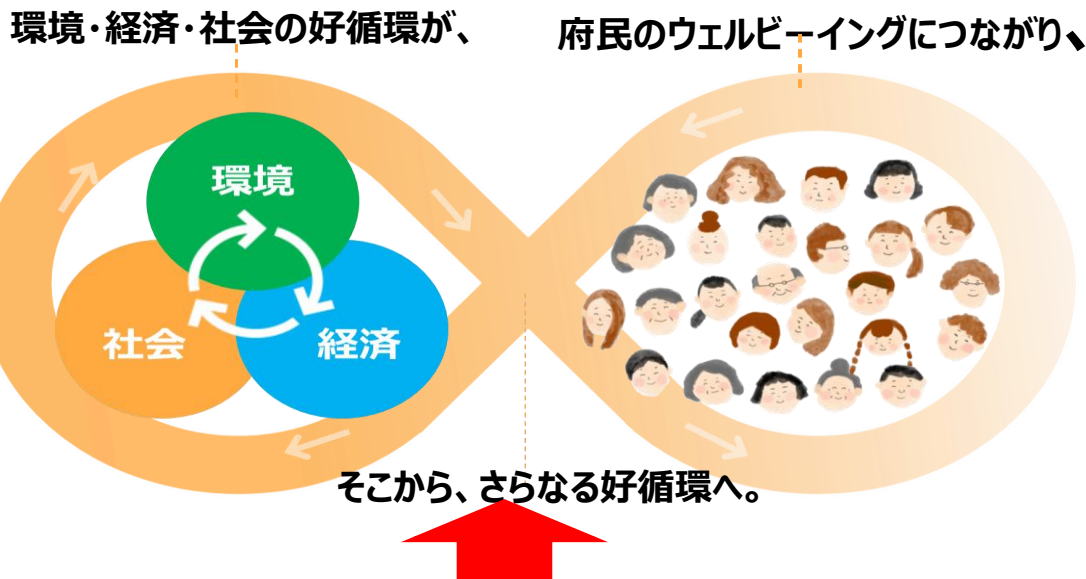
審議会	開催日	審議内容等	参 考
部会①	令和7年5月9日	・ 改定基本計画の概要案提示	⇒ 6月府議会 概要報告
部会②	令和7年7月29日	・ 改定基本計画の中間案提示	⇒ 9月府議会 中間案報告 ⇒ 10月 パブコメ
部会③	令和7年10月29日	・ 改定基本計画の答申案提示 ・ 現行基本計画の進捗状況について ・ 改定基本計画の進捗状況評価について	⇒ 12月府議会 最終案の提案 <b>12月計画改定</b>
部会④	令和8年3月23日	・ 基本計画の進捗状況評価方法について	

※ 本日の審議で、進捗状況評価方法を決定予定

本日の審議

# 京都府環境基本計画の評価枠組み(前回提示した案)

## ②「ウェルビーイング＝府民が幸せを実感できる状態」向上の進捗状況



- **デジタル庁のWell-Being指標**を活用して客観的指標と主観的指標により評価



## ①京都府の環境施策の進捗状況

### 第5章 分野横断的施策の展開方向

#### 第6章 環境課題の分野ごとの重点取組の推進 (2040年目途)

<p>① <b>脱炭素社会と持続可能な経済成長の同時実現</b>に向けた取組の加速化 徹底した省エネの推進、再エネの主力電源化 フロン対策の推進 温室効果ガス吸収源対策・施策</p>	<p>③ <b>安心・安全な暮らしを支える生活環境の保全と向上</b> 環境モニタリングと情報発信、環境アセスメント、有害化学物質等対策、気候変動適応策、災害時の再エネ導入 災害廃棄物対策、不法投棄の未然防止</p>
<p>② <b>循環型社会を目指した循環経済への移行の促進</b> 3R・資源循環の促進、消費者の意識啓発、プラスチックごみの削減、食品ロスの発生抑制、環境保全型農業の推進、海岸漂着物対策</p>	<p>④ <b>自然と生活・文化が共生する地域社会の継承</b> 多様な生態系の保全、里地・里山の再生 豊かな農林水産資源の保全・利活用 生物多様性の知見の集積と人材育成、外来生物対策</p>

京都府の地域特性に応じた取組

- 第5章について評価  
**府民意識調査**と京都府の**施策の取組状況調査**により評価



- 第6章について評価  
**個別部会における進捗状況評価結果**により評価

# ■ 審議会委員からいただいたご意見

- ✓ 評価結果を点数化(見える化)する方向性については支持する。
- ✓ 配点の重みづけについては、他事例も確認した上で案を提示していただきたい。
- ✓ 府民意識調査結果がどの施策にどう影響するのかどう点数化するのかを考えないと、施策ごとの評価につながらないのではないかと。

## 課題①

### 点数化・重みづけ・主観指標の施策連動を含む評価体系の全体設計をどう整理するか

- ✓ 住環境が良くなることやデジタル化が進むことが、実は省エネルギーの推進につながるといった結びつきがあると思われるので、そういったつながりを意識して指標を選定してはどうか。
- ✓ デジタル庁の既存の指標を活用するのは良いが、これらの指標のうち、京都府としてどの指標を選ぶかという考え方を整理することが大事な作業になると思う。
- ✓ デジタル庁の指標をそのまま使うのではなく、例えば京都の景観を指数ではかるなど、京都らしさを考えて指標を選定するべきであり、自然環境のみに限定する必要はないと思う。

## 課題②

### 指標の選定方針

## 課題①

点数化・重みづけ・主観指標の施策連動を含む評価体系の全体設計をどう整理するか。



- 他自治体の事例では、ウェルビーイング指標を扱っているのは、「総合計画」においてであり、環境に特化した計画でウェルビーイングを評価軸として組み込んでいる例は確認できなかった
- 総合計画においても、主軸となっているのは客観データに基づく施策の進捗評価であり、ウェルビーイングに関する主観的データは、その補完的な位置づけとして扱われている場合が大半



## 提案（案）

施策の実施状況、環境データに基づく状況をまず評価し（客観的評価）、その結果に府民の実感（主観的評価）を加味した上で、“総合的な評価”として公表してはどうか。

## ● 岩手県 **補完的利用**

（いわて県民計画：理念に、「幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めること」を掲げる）

- ✓ 客観的データと主観的データ（県民意識調査）を組み合わせで評価
- ✓ **県民の実感が基準年と比較して「低下」「横ばい」「上昇」で評価し、「低下」している場合は、客観的データに基づく評価結果を下げることで対応**

## ● 富山県 **分離利用**

（富山県成長戦略：ビジョンに「幸せ人口1,000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を掲げる）

- ✓ 進捗評価は、客観的データに基づき実施
- ✓ **県民の幸福度が見える化するため、アンケート調査に基づくウェルビーイング指標を公表**

## ● 静岡県 **分離利用**

（静岡県総合計画：目指す姿に「幸福度日本一の静岡県」を掲げる）

- ✓ 進捗評価は、客観的データに基づき実施
- ✓ **デジタル庁と同じアンケート項目の調査を独自に実施し、政策立案等の参考として活用**

※ 環境基本計画でウェルビーイング指標を活用している事例は確認できなかった

# 評価の全体設計 (案)

## I 京都府の環境施策の進捗状況を評価 (客観的評価)

### 第5章 分野横断的施策の展開方向

#### 第6章 環境課題の分野ごとの重点取組の推進 (2040年目途)



① **施策の取組状況調査による評価**  
計画に位置付けた取組に対応する京都府の施策が、どの程度進んでいるかを把握

② **環境データに基づく状況評価**  
個別部会においてデータに基づき環境を取り巻く状況について進捗状況を評価

補完

## II 「ウェルビーイング＝府民が幸せを実感できる状態」向上の進捗状況 (主観的評価)

環境・経済・社会の好循環が、府民のウェルビーイングにつながり、



③ **府民の実感を調査**  
デジタル庁のWell-Being指標の主観的指標と府民意識調査結果を活用して評価

# ■ 評価の全体設計 (案)

## 客観的評価

### ① 施策の取組状況 調査による評価 (第5章に対応)

計画に位置付けた取組に対応する京都府の施策の進捗度を全庁に照会し結果を評価

### ② 環境データに基づく 状況評価 (第6章に対応)

各部会で数値目標、達成までのロードマップを定めその進捗度を評価

評価結果を点数化し、その得点率で◎○△×の4段階で評価

第5章					第6章			
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④
◎	◎	△	×	○	○	△	◎	○

- 全て◎または○ → A
- ◎または○が半数以上かつ△または×が1つ以上 → B
- ◎または○が半数未満かつ×が半数未満 → C
- ×が半数以上 → D

評価

**B**

**総合評価**

## 主観的評価

### ③ 府民の実感を調査

幸福度・生活満足度

環境に対する実感

デジタル庁Well-Being指標  
(主観指標のうち幸福度・生活満足度に関する設問4問を抽出)

府民意識調査  
(5問)

基準年(令和8年度)から比較して、「上昇」「横ばい」「低下」で評価

Well-Being指標				府民意識調査				
①	②	③	④	①	②	③	④	⑤
↗	→	↘	↘	↗	↗	→	↘	↘

幸福度・生活満足度  
概ね低下

環境に対する実感  
概ね横ばい



## ■ 課題②への対応（案）

### 課題② 指標の選定方針

- 客観的指標による評価に加えて、「ウェルビーイング＝府民が幸せを実感できる状態」の向上状況は、府民の実感（主観指標）で把握する必要がある
- 本計画は 環境に特化した環境基本計画 であるため、ウェルビーイングの進捗を測る際には次の2つの観点が不可欠
  - ① 府民の幸福度（生活全体に対する総合的な実感）
  - ② 環境の良さ・暮らしやすさを府民がどの程度実感しているか（環境に関する実感）

### 提案（案）

- デジタル庁のウェルビーイング指標は、最上位に「地域における幸福度・生活満足度」が位置づけられ、その下に「生活環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」等の因子が構成されている。このため、**ウェルビーイング全体を端的に捉える指標として、最上位指標である「地域における幸福度・生活満足度」を採用**
- 環境をめぐる府民の実感については、**京都府が継続して実施している府民意識調査の環境関連項目により把握**
- デジタル庁のウェルビーイング指標と府民意識調査の評価結果は、双方を同等（1：1）の重みで扱い、総合評価に反映**

# （参考）デジタル庁ウェルビーイング指標（主観的指標）

## 地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

これを  
選定

### 生活環境（16）

#### 医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

#### 子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

#### 都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

#### 買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない
- 飲食を楽しめる場所が充実している

#### 初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

#### 事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

#### 地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている
- 公共施設は使い勝手良く便利である

#### 自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

#### 住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている
- 適度な費用で住居を確保できる

#### デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

#### 自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

#### 移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

#### 環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

#### 公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

#### 自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

### 地域の間関係（2）

#### 地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
- 困ったときに相談できる人が身近にいる
- 町内の人が困っていたら手助けす
- このまちに愛着を持っている

#### 多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

### 自分らしい生き方（6）

#### 自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる

#### 健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である
- 精神的に健康な状態である

#### 文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

#### 教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

#### 雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

#### 事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある

# 府民の実感をはかるための主観的指標

## 幸福度・生活満足度 (デジタル庁Well-Being指標)

1. 現在、あなたはどの程度幸せですか
2. 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか
3. 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか
4. 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

## 環境に対する実感 (府民意識調査)

1. 企業の環境に配慮した取組や経営を評価する社会に変わってきていると思う
2. 省エネの取組や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入が、暮らしやすさに繋がると思う
3. 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している
4. 地域で子どもたちが自然や生物多様性などの大切さについて学び、体験する機会が整っていると思う
5. 持続可能で魅力ある地域づくりに向け、個人や企業、市民団体など多様な主体が環境保全活動に取り組んでいると思う

# ■ 今年度の審議スケジュール（再掲）

審議会	開催日	審議内容等	参考
部会①	令和7年5月9日	・ 改定基本計画の概要案提示	⇒ 6月府議会 概要報告
部会②	令和7年7月29日	・ 改定基本計画の中間案提示	⇒ 9月府議会 中間案報告 ⇒ 10月 パブコメ
部会③	令和7年10月29日	・ 改定基本計画の答申案提示 ・ 現行基本計画の進捗状況について ・ 改定基本計画の進捗状況評価について	⇒ 12月府議会 最終案の提案 <b>12月計画改定</b>
部会④	令和8年3月23日	・ 基本計画の進捗状況評価方法について	

※ 本日の審議で、進捗状況評価方法を決定予定

本日の審議

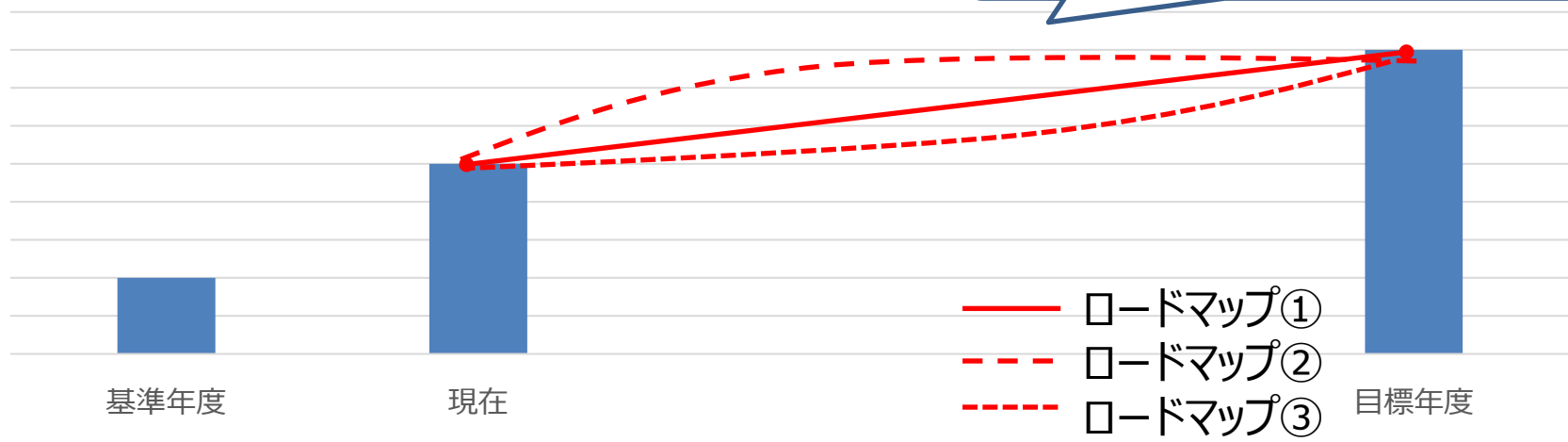
# ■ 各部会における作業イメージ（前回資料再掲）

令和7年度  
令和8年度  
令和9年度

## 各部会において、進捗をはかっていくための指標・ロードマップを作成

(指標・ロードマップ例 (イメージ) )

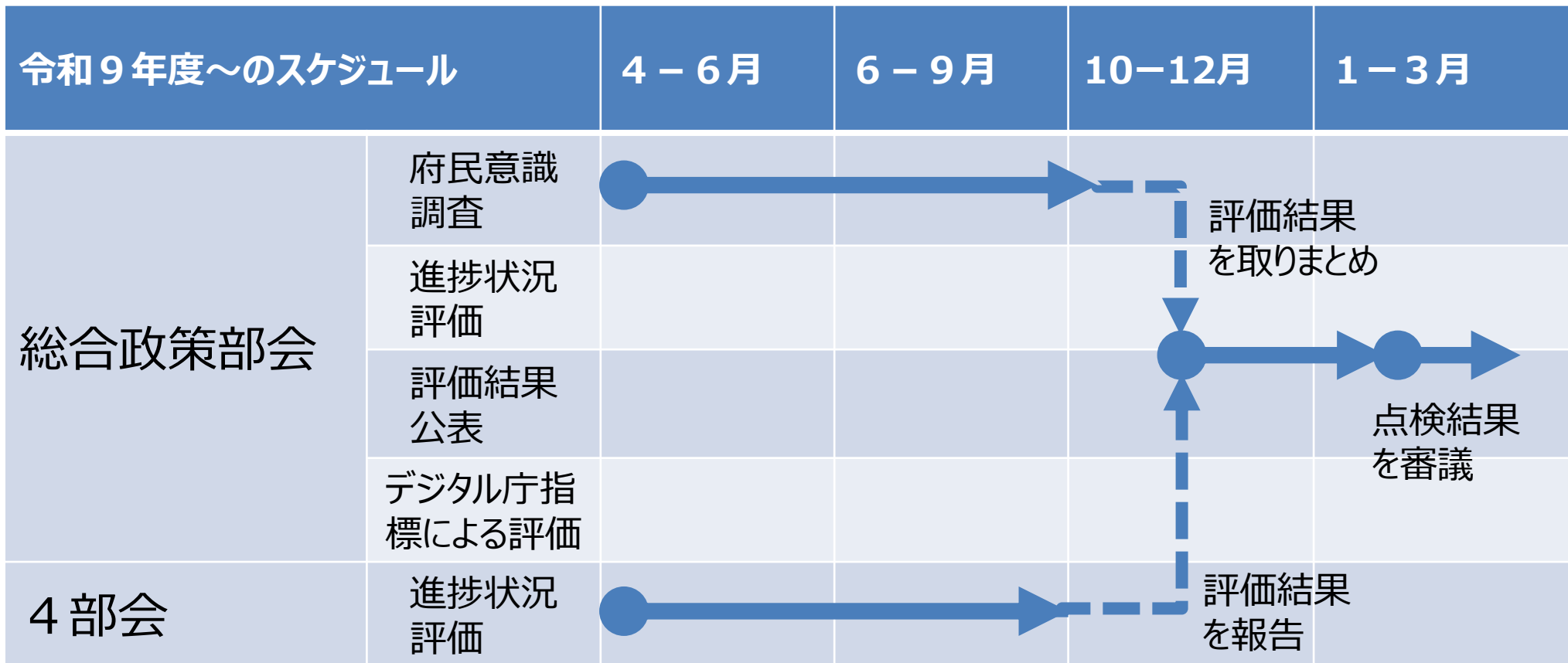
目標達成に向け、どのロードマップを描くのか？



どのようなロードマップで目標達成をするのか } を検討・決定  
どのように進捗をはかっていくのか

## 各部会において、進捗状況評価の運用開始

- **進捗をはかるための指標の設定（各部会3～5個程度を想定）**
  - 指標の設定に当たっては、可能な限り定量的に把握可能であり、継続的にデータ取得が可能なものとする
- **各指標の目標数値、ロードマップの設定**
  - 各年度、定量的な数値目標を設定
- **総合政策部会で報告するための4段階評価（第6章の各節に対応する◎、○、△、×）の考え方を整理**
  - 目標に対する達成度をどのように4段階評価に落とし込むか



※ 令和8年度末までに、各部会において指標・ロードマップ等を検討。  
 令和9年度に実施する改定後の環境基本計画の進捗状況評価からこのスケジュールで実施。

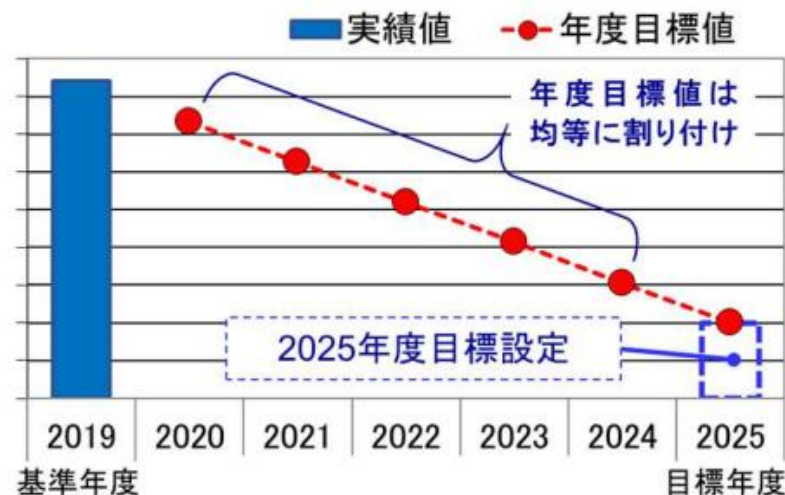
# （参考）京都市の現行環境基本計画の評価方法

## 現行計画の概要 計画の進行管理 - 環境指標 -

- ① 計画の進行管理は分野ごとに設定した**環境指標**を用いて実施
- ② 環境指標には**客観的指標**と**主観的指標**があり、客観・主観の両面から評価

### 客観的指標（12の指標）

- ・ 温室効果ガス総排出量削減率やごみ焼却量等の**実績値**で評価
- ・ 基準年度実績から目標値までを直線的に均等に割り付けて、年度目標値を設定（右図）
- ・ 年度目標値に対する各年度の実績値の達成率に応じて5段階（☆☆☆☆☆）で評価



### 主観的指標（11の指標）

- ・ インターネットによる市民アンケート調査(1,000名)により**市民実感度を把握**  
「省エネルギーや節電の取組が年々進んでいると感じるか。」など指標がアンケートの質問に設定されている。
- ・ 各指標(質問)に対する選択肢を5つ、選択肢ごとに配点※を設け、全回答から数値化（市民実感度）し、5段階で評価

※ そう感じる 2点、どちらかと言えばそう感じる 1点、  
どちらかと言えばそう感じない -1点、そう感じない -2点、わからない 0点

Q 環境保全や環境問題に対して関心がありますか？（令和4年2月調査）

